

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
地理歴史	日本史探究	文2、理2	選択別	共通	2

教科書（発行所）	詳説日本史（山川出版社）
教科書以外の教材	1 新日本史要点ノート〔応用編〕（啓隆社） 2 新詳世界史（浜島書店）

目 標	1 日本歴史の展開に関わる諸事象を地理的条件、世界の歴史と関連付けながら、広い視野から捉え、理解する。 2 日本の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、年代や現代とのつながりに着目しながら、諸資料を用いてまとめたり、それを基に説明したり、議論したりする力を養う。 3 諸活動を通して、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追求、解決しようとする力や他者を尊重する力、自国の文化に対する愛情、他国の文化を尊重する態度を養う。			
	学期	学習事項	学習内容	考查等
学習計画	1学期	A 原始・古代の日本と東アジア B 中世の日本と世界	(1) 黎明期の日本列島と歴史的環境 (2) 歴史資料と原始・古代の展望 (3) 古代の国家・社会の展開と画期 (1) 中世への転換と歴史的環境	中間考查 期末考查
	2学期	C 近世の日本と世界	(2) 歴史資料と中世の展望 (3) 中世の国家・社会の展開と画期 (1) 近世への転換と歴史的環境	実力考查 中間考查 期末考查
	3学期		(2) 歴史資料と近世の展望	実力考查 学年末考查
授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等	1 教科書・整理ノート・資料集・地図帳・授業用タブレットを準備する。 2 説明を集中して聞き、学習した用語を用いて内容を説明できるまで理解するように務める。その理解した内容が議論の下地になる。用いることのできる用語は忘れない。 3 積極的に話し合いに参加する。様々な意見を取り入れ、より妥当な推論や因果関係を考察する。時代背景や複数地域の関連を的確に捉え、全世界的な歴史観を形成しよう。 4 ICT（Google Classroom など）を用い、考えをまとめる・考察する課題が出される。授業内容を自分事として捉えようとする姿勢や他者と意見を交換しようとする態度をもとう。これらは社会でも求められる資質となる。 5 歴史において、地形や地図は大切です。地図帳も適宜用いますので地図を見る癖をつけましょう。			

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	日本歴史の展開に関わる諸事象を地理的条件、世界の歴史と関連付けながら、広い視野から捉え、理解している。	日本の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、年代や現代とのつながりに着目しながら、諸資料を用いてまとめ、それを基にした説明や議論を行うことができる。	自国の文化に対する愛情、他国の文化を尊重する態度を備える国家および社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に探究しようとしている。
評価の方法	授業時の取り組み（授業に臨む姿勢や意欲及び発問に対する答えの内容）や課題、定期考查を基に、日本史探究で身につけるべき能力を総合的に評価する。そのため、考查以外の普段の取り組み、提出課題の内容等も評価の対象となる。 また、身につけた知識、概念をどう生かすか。議論を通して伝え合い、より多面的・多角的な知識や態度を獲得しているか、活用しているかを主に授業課題を通して評価する。		